

THEME

NEXT GENERATION SUSTAINABLE HOUSE IN TAIKI-CHO



Planned construction site

最優秀賞は、北海道・大樹町「MEM メドウズ」敷地内に実作として建設されます。

世界9カ国、12大学の中から一次審査を通過した上位3校による公開審査会を開催

INTERNATIONAL UNIVERSITY ARCHITECTURAL COMPETITION [同時通訳]

国際大学建築コンペ 公開審査会聴講者募集!!

2012年4月27日[金] 13:30▶▶▶17:30

会場：国連大学 ウ・タント国際会議場

東京都渋谷区神宮前5-53-70

定員：360名(入場無料) ※事前申込制(申込多数の場合は抽選)

※当日は『入場券』が必要となります。

優勝校教授による
「わが国およびわが校の
建築システムについて」
講演を予定

お申込先 (申込締切日 4/6 金) <http://kenchiku.co.jp>

審査委員



審査委員長
隈 研吾
建築家
東京大学教授



審査委員
野城 智也
工学博士
東京大学教授



審査委員
貝島 桃代
建築家
筑波大学准教授



○「渋谷駅」から徒歩10分
◎地下鉄(銀座線・半蔵門線・千代田線)
「表参道駅」出口B2から徒歩5分。

主催：公益財団法人 LIXIL住生活財団(旧システム建材産業振興財団) <http://www.tostemfound.or.jp/>

◎問合せ先：『国際大学建築コンペ』事務局 (株)建報社 TEL.03-3818-1961

THEME

NEXT GENERATION SUSTAINABLE HOUSE IN TAIKI-CHO

INTERNATIONAL UNIVERSITY ARCHITECTURAL COMPETITION

国際大学建築コンペ

寒冷地の過酷な気象条件かつインフラ基盤の弱い北海道大樹町の地域特性を活用して、世界の最先端の技術を導入。また北の大地特有の冬の雪、春から夏にかけての樹木、農作物の壮大な景観とマッチする次世代サステナブル住宅を建設し、省エネ効果のデータをもとに、技術的に有効性を検証し、地球社会に情報を発信する。

invitational university 招待校[全12校]

Tsinghua University

清華大学(中国)

China Academy of Art

中国美術学院(中国)

Columbia University

コロンビア大学(アメリカ)

Massachusetts Institute of Technology

マサチューセッツ工科大学(アメリカ)

Architectural Association School of Architecture

AAスクール(イギリス)

Aalto University

アアルト大学(フィンランド)

Munich University of Technology

ミュンヘン工科大学(ドイツ)

Polytechnic of Milan

ミラノ工科大学(イタリア)

Swiss Federal Institute of Technology

スイス連邦工科大学(スイス)

Universitetet i Oslo

オスロ大学(ノルウェー)

Keio University

慶応義塾大学(日本)

Tohoku University

東北大学(日本)

コンペ / 工事 スケジュール

INTERNATIONAL
UNIVERSITY
ARCHITECTURAL
COMPETITION

- 1 コンペ作品締切 2012年3月
- 2 第一次審査 [第一次審査通過 上位3校選出] 2012年3月~4月
- 3 公開審査会 [上位3校による公開審査会を開催] 2012年4月27日
- 4 作品実施設計 [最優秀作品の実実施設計] 2012年6月
- 5 着工 2012年8月
- 6 竣工 2012年10月

審査委員長 隈研吾(くま けんご)
建築家・東京大学教授

1954年 生まれ

1990年 隈研吾建築都市設計事務所設立

■主な作品・著作

1996年《森舞台/登馬町伝統芸能伝承館》、2000年《那珂川町馬頭広重美術館》、2007年《サントリー美術館》、2009年《根津美術館》、2010年《精原 木橋ミュージアム》ほか

『自然な建築』(岩波新書)、『負ける建築』(岩波書店)、『隈研吾:レクチャー/ダイアログ』(INAX出版)、『新・ムラ論TOKYO (集英社新書)』(集英社新書) (共著)

審査委員 野城 智也(やしろう・ともなり)
工学博士・東京大学教授

1957年 生まれ

建設省建築研究所研究員、建設省住宅局住宅建設課係長、建設省建築研究所主任研究員、東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻助教授、同大学生産技術研究所助教授所長など歴任

■主な著作

『住宅にも履歴書の時代 — 住宅履歴情報のある家が当たり前になる』(大成出版社)、『サービス・プロバイダー — 都市再生の新産業論』(彰国社)、『サステナブル建築と政策デザイン』(共著、慶應義塾大学出版会)

審査委員 貝島 桃代(かいじま・ももよ)
建築家・筑波大学准教授

1969年 生まれ

1992年 塚本由晴とアトリエ・ワン設立

■主な作品・著作

2003年《ガエ・ハウス》、2005年《ハウス&アトリエ・ワン》、2010年《愛・地球博記念公園地球市民交流センター》、2011年《みやしたこうえん》、2011年《BMW グッゲンハイム ラボ》ほか
『アトリエ・ワン | 空間の響き/響きの空間』(INAX出版) (共著)、『Behaviorology』(Rizzoli New York) (共著)、『建築からみたまち いえ たてもの シナリオ』(INAX出版)

コーディネーター 淵上 正幸(ふちがみ・まさゆき)
建築ジャーナリスト

東京外国語大学フランス語学科卒。新建築社およびエー・アンド・ユー社編集部を経て、1989年建築編集オフィス、(株)シネクティックス設立。現在『ワールド・コンペティションズ』誌編集長。海外を中心とした建築・デザイン関連のプロデューサー、コーディネーターとして活動。

■主な著作

『世界の建築家-思想と作品』(彰国社)、『ヨーロッパ建築案内』1~3巻(TOTO出版)、『アメリカ建築案内』1~2巻(TOTO出版)、『世界の建築家51人:コンセプトと作品』(ADP出版)

主催: 公益財団法人 LIXIL住生活財団(旧トステム建材産業振興財団) <http://www.tostemfound.or.jp/>

共 催: 株式会社LIXIL(総合研究所)、北海道大樹町 協 賛: 一般財団法人生活環境研究センター

後 援: 北海道開発局帯広開発建設部、北海道十勝総合振興局、社団法人日本建築学会、社団法人日本建築家協会、社団法人日本建築士会連合会